

名古屋市立大学医学部附属西部医療センターの整備状況

1 開設者の住所等

住 所	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地
名称及び代表者職・氏名	公立大学法人名古屋市立大学 理事長 郡 健二郎

2 病院の名称等

名 称	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター					
所 在 地	名古屋市北区平手町 1 丁目 1 番地の 1					
病 床 数	精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
					500	500 床

3 周産期関連部門

区分	一般産科病床	新生児集中治療管理室 (NICU)	新生児集中治療管理室 後方病床(GCU)
病 床 数	39 床	12 床	24 床

4 診療科目

【要件】産科及び小児科（新生児医療を担当するもの）を有するものとし、麻酔科その他関連診療科を有することが望ましい。

内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科 外科 呼吸器外科 消化器外科 小児外科
 整形外科 脳神経外科 形成外科 精神科 リウマチ科 **小児科** 皮膚科 泌尿器科
産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線診断科 放射線治療科 病理診断科
 小児科(新生児) 歯科口腔外科 **麻酔科** 腎臓・透析内科 血液・腫瘍内科
 内分泌・糖尿病内科 乳腺・内分泌外科 児童精神科 小児アレルギー科 脳神経内科 計 33

5 設備

【要件】

(産科) 次に掲げる設備を備えることが望ましい。

緊急帝王切開術等の実施に必要な医療機器、分娩監視装置、超音波診断装置(カラードップラー機能を有するものに限る。)、微量輸液装置、その他産科医療に必要な設備

(小児科) 新生児病室を有し、次に掲げる設備を備えるNICUを設けることが望ましい。

新生児用呼吸循環監視装置、新生児用人工換気装置、保育器、その他新生児集中治療に必要な設備

産科部門	台数
帝王切開術等に必要な機器	
電気メス、麻酔器	各 2 台
分娩監視装置	12 台
超音波診断装置(カラードップラー機能)	10 台
微量輸液装置 (ME室管理)	総数 281 台
その他必要な装置	
呼吸循環監視装置	14 台

新生児部門	台数
新生児用呼吸循環監視装置	35 台
新生児用人工換気装置	21 台
保育器	30 台

6 職員

区分	要件	状況
小児科	24時間体制を確保するために必要な職員を配置することが望ましい。	常勤 10名、非常勤 3名 (当直 1名 日直 (休診日) 1名)
産科	帝王切開術が必要な場合に迅速 (おおむね30分以内) に手術への対応が可能となるような医師 (麻酔科医を含む。) 及びその他の各種職員を配置することが望ましい。	常勤 7名、非常勤 4名 (当直 1名、日直 (休診日) 1名の体制を整える予定) 麻酔科医 3名 (病院内にて 1名の当直・日直配置の場合あり)
新生児病室	次に掲げる職員を配置することが望ましい。 ① 24時間体制で病院内に小児科を担当する医師が勤務していること。 ② 各地域周産期母子医療センターにおいて設定した水準の新生児医療を提供するために必要な看護師が適当数勤務していること。 ③ 臨床心理士等の臨床心理技術者を配置すること。 ④ NICUを有する場合は入院児支援コーディネーターを配置することが望ましい。	 ① 常勤 7名、非常勤 4名 (当直 1名 日直 (休診日) 1名) ② 産科病床 45床：看護職員 44名 (日勤 9～27名、夜勤 5名) NICU 12床、GCU 24床：看護職員 63名 (日勤 11～36名、準夜 7名、深夜 7名) ③ 臨床心理技術者 法人内に 2名配置し、必要に応じて対応 ④ 入院児支援コーディネーター 1名 (看護業務と兼任) 配置。

7 連携機能

〈搬送受入者の状況〉

	母体搬送	新生児搬送
搬送受入数	91件	97件

その他、総合周産期母子医療センターである名古屋市立大学病院、名古屋第一赤十字病院と病床稼働や患者受け入れ状況等の情報交換により連携を図っている。